

ヤブキリの産卵（令和4年9月12日）

有峰森林文化村
田島指導員
伊勢指導員

令和4年(2022年)9月12日15:30 猪根平自由広場にて、ヤブキリ♀の産卵を確認しました。自由広場で発見した♀個体は、成熟した個体と思われ、産卵管を地面に差しながら、最適な産卵場所を見つけ産卵していました。

※ヤブキリ

【分類】バッタ目(直翅目)キリギリス科ヤブキリ属

【学名】*Tettigonia orientalis*

【和名】ヤブキリ(藪蝻)

【形態】体長45-55mm前後、体色は緑が普通一見キリギリスに似るが、羽をのぞいた体長はより小さめ、後肢も短めで、樹上生活に適応したコンパクトな体型

【分布】沖縄・南西諸島を除く日本全土

富山県にはヤマヤブキリ(*T. o. yama* Furukawa)は、分布しないことになっているが、キンキヤブキリが分布する可能性も示唆されており、今後の調査が必要と思われます。

【生態】主に樹上で生活するが、藪や草原でも見られる。食性はきわめて幅広く、様々な昆虫・小動物から種々の葉・果実、蕾や新芽などを食べる。メスや終齢幼虫は特に貪欲で、自分と同じかあるいはそれ以上の体長の相手にも飛びかかって食べてしまうことがある。卵は4月頃孵化、2か月ほどの幼虫期間を経て成虫になる。成虫寿命は普通2か月ほど、キリギリスやヒメギスほど人に対して警戒心が強くない。鳴き声は、ジジィ ジジィ と連続音

【参考文献】

1)ヤブキリ ウィキペディア

2)根来 尚他: 富山県の直翅目(Ⅱ)、富山市科学文化センター研究報告第13号、pp65-94、1990

3)根来 尚: 富山県のバッタ・コオロギ・キリギリス、とやまと自然 第34巻春の号、No 133、2011



地面(アスファルト舗装の間)に産卵中の♀個体